

「雪割草まつり」盛大に開催！

門前復興研究

発行所
Learning Crisis 研究会

連絡先: dsat.shibata@gmail.com
発行所: 東京都世田谷区駒沢 1-23-1
駒澤大学 柴田邦臣研究室

「門前復興研究」は
「ふくしまキッズプロジェクト in こだいら」
のご助成で発行しております。



▽写真Ⅱ雪割草まつりの様子。

2024年3月24日(土)、門前東小学校体育館にて、「雪割草まつり」が令和6年能登半島地震復興に向けて、輪島市門前町では、はじめての大規模イベントとなり、門前町の方々、ボランティアはもちろん、輪島市からないしは遠く離れた金

「地域が繋がる」
機会を、これから

沢からも、数多くの方々が参加してくださいました。

「Learning Crisis 研究会(LC研)」では、当日の公式パンフレットの作成・印刷を担当いたしました。余裕をもって通常版を300枚、文字が大きい版を200枚印刷させていただきましたが、受付ですべてなくなったということで、当日は500人を上回る参加者がいらっしゃる、大盛会だったことは確実です。

「LC研は、東日本大震災の支援経験から、被災直後こそ、このようなイベントを開催するべきだと考え、お手伝いをしてきました。その理由は、今、地域で一致団結した経験を確認しておくことが、何よりも重要だからです。仮設への入居、水道の開通、すでに地域ごとの差が出はじめています。残念ながら、大規模な被災地においても、とも問題になるのが、「被災の格差」の問題です。人により、家庭により、仕事により、みなさんそれぞれどうしても運命が別れてしまします。その時に「地域として団結した盛り上がり」が、何よりも意味を持つことがあるのです。

私たちはこれから、地域としての繋がりの意味を思い出したり、大事にしたいだけのようなサロン活動に、ここ門前で、力を入れていきたいと考えています。

『門前復興研究』創刊します。

私たち「Learning Crisis 研究会(ラーニングクライシスけんきゅうかい)」は、東日本大震災以来のさまざまな災害を研究してきた大学教員・院生・学生の集まりです。

能登半島地震では「災害支援チーム」を派遣してきましたが、門前町での情報不足、説明不足に少しでもお役にたてるよう、新しい実証実験をおこなうことになりました。現地ZOO等と連携して実証実験をおこなうことになりました。現地ZOO等と連携して、研究者なりに現地情報を集め、分析した新聞を月一程度、定期的に無料で発行いたします。みなさんと一緒に調べ、考える場にしていきますと幸いです。どうぞよろしく願います。LC研Webサイト.. (<https://monzen.learningcrisis.net/>)

ゆきわりそうまつり
子どもえんにちクイズラリー

△雪割草まつりチラシ



3月24日に開催された、雪割草まつり。私たち「LC研」は、子ども縁日でクイズラリーを実施しました。雪割草まつりは、門前町のお祭りです。そこで、門前のことをお子さんに知ってもらおうと、できるようなクイズにしようという「門前」といえば、「LC研」を集め、問題を厳選しました(当日、うさぎといぬになりきってクイズを出題していた怪しい人物を見たら、それが私たちです)。お子さんにはちょっと難しい問題だったかもしれませんが、当日お越しくださった保護者の方も一緒に楽しみたいだけでしたら何よりです。お子さんだけではなく、大人の方もクイズラリーに挑戦してくださいました！

当日出題した問題は、次のとおりです。みなさんは、何問正解できるでしょうか？

第1問: 雪割草の「花」に見える部分はなんでしょう？
1 がく 2 おしべ 3 葉っぱ

第2問: 「輪島塗」を広めたのは誰でしょう？

1 金沢の商人 2 門前のお坊さん 3 輪島の職人自身

第3問: かつて門前町の一番大きな市(いち)だった「大市」。この市には、江戸時代から続く別の呼び名があります。それは次のうちどれでしょう？

1 北前市 2 朝市 3 方丈市

第4問: 白米千枚田(しろよねせんまいだ)は、能登半島・輪島市が誇る資産で、ギネスに世界一として登録されるほどです。では、何の記録として認められているでしょう？

1 世界最大の枚数をほこる田んぼとして

2 世界最大の太陽光発電の「LED電飾」として

3 世界でもっとも美しい自然と歴史の遺産として

門前出身ではない私たちが出題をさせていたかもしれませんが、私たち自身も門前のことをもっと知りたと思っています。クイズの答え合わせは、裏面で！さらに「門前の思い出」を皆でお話しするサロンの情報もあります！ご参加ください。

ゆきわりそうまつり
子どもえんにちクイズラリー
解答・解説編

2024年3月24日（日）、門前町・門前東小学校の体育館で開催された「雪割草まつり」に、「Learning Crisis」研究会もクイズラリー出展団体として参加させていただきました。このページでは、雪割草まつりの「子ども縁日クイズラリー」で出題した問題の一部と、その答えを掲載しています。

第一問…雪割草の「花」に見える部分は何でしょう？
正解…一の「がく」と当日お伝えしましたが、2の「おしべ」も正解です。大変失礼いたしました：

解説…我々は雪割草の多様性を誤って認識しておりまし
た。大変申し訳ございません。雪割草の面白いところの
一つは、花（花弁）に見えるところが、元々は別の部位
だったところです。例えば、元々「かく」だったけれど
それが花弁化したというものもあれば、なんとおしべ・
めしべが花弁化するものもあるのだとか。ちなみに、お
しべ・めしべが全て花弁化すると「千重咲き」、一部の
みが花弁化すると「二段咲き」「日輪咲き」など、呼び
方も変わります。ということで、正解は1の「かく」と
2の「おしべ」でした。選択肢にないだけで、「めしべ」
も正解ですね。大変失礼いたしました。

第2問…「輪島塗」を広めたのは誰でしょう？

正解.. 2の門前のお坊さん

解説…次の問題は、「輪島塗」の問題でした。現在の門前町は、2006年に隣接する輪島市と合併することになり「輪島市門前町」となっています。この輪島にある伝統工芸が、「輪島塗」です。門前町と輪島の中心街は物理的にだいぶ距離がありますが、しかし、実はこの輪島塗、門前町とも関係が深いと言われています。なぜなら、門前町にある大本山・總持寺祖院では、輪島塗の漆器を使って食事が供されていたからです。總持寺では、住職を全国各地の末寺のお坊さんたちが交代で務める「輪住制」をとっていました（珍しい！）。そのため、總持寺には全国各地から曹洞宗のお坊さんが集まっていたそうです。一人のお坊さんに対して、弟子や檀家、世話人など、100人ほどの人たちが一緒に旅をしており、總持寺周辺は、かなり賑わっていたよう。輪島塗が全国に広まったのは、大本山・總持寺祖院の輪番住職を終えたお坊さんが、各地に帰る時にその輪島塗の漆器を持ち帰ったからだと言われています。

：以上、2問だけですが、クイズを楽しんでいただけたら幸いです。そして、門前の思い出を語る「門前思い出サロン」の詳細は、かわらばんをご覧ください！

学生ボランティアと

門前のまち・人

第2回

門前の今を、学生ボランティアの視点からつづる本企画。今回は、3月24日の雪割草まつりに子ども縁日クイズラリーの出題者として参加した、学生2人の当日の報告です。

・雪割草まつりは予想を大きく上回る盛況で、特にお子さんの姿が目立っていたのが印象的だった。当日は主にクイズラリーの運営に関わり、犬やうさぎになりきり（？）ながら、クイズを出題した。各問題（表・裏ステージ）の正答率は50%ぐらいで、参加者が相談しながら、難問（？）に頭をひねらせていた。（金沢大・5年）

・子どもたちにはちよつと難しいクイズを携えて、体育館の隅でクイズラリーの動物役をする。時にはスーパールールすくいに呼ばれ、お絵かきせんべいにも呼ばれて店番をする。その中で、来てくれたお子さんたちと、いつもより深く交流することになった。クイズが分からなくて、お父さんの後ろに隠れてしまう、はにかみ屋の女の子。かわいらしい格好をした女子高生3人組。破れたポイで、永遠に、スーパールールの小プールをバシャバシャたたく男の子。お絵かきせんべいの店番は、小学5年生。背丈は小さいながら、自分より大きい子どもたちのお絵かきせんべい作りを指南する。お客のいない時間には、膨らんだ紙袋から、射的の戦利品を取り出して、ブルーシートの上に並べてみせる。みんな、よく洗濯された服を着て、ほったたけには赤みがさして、サラサラの髪には寝ぐせもついてと、外見からは、被災したことがまったく分からないと思つた。(金沢大・4年)

・「これから門前にどんなまちになってほしい?」とクイズラリーの中で尋ねたとき、あるお子さんから「友達に戻ってきて欲しい」という解答をいただいた。詳しく話を聞いてみると、友達7人のうち4人が輪島を離れてしまったということだった。(金沢大・4年)

・「これから門前にどんなまちになってほしい？」という質問に、素敵な回答をたくさんいただいた。特に「みんなが来たくなくなるような美しい町に戻ってほしい」という回答には強く胸をうたれた。復興という美しい願いを一刻も早く叶えられるよう、これからも門前町の力であり続けたい。

(金沢大・5年)(終)

写真＝クイズを解くお子さん

A young child with dark hair, wearing a white hooded sweatshirt and dark shoes, is seen from behind. They are holding up a white rectangular piece of paper with both hands, looking at it. The background is a wooden floor and a wooden wall.

▽写真＝クイズを解くお子さん



門前町
ニュース・
イベント

かわらばん

門前町の子どもの遊び場「ありんこの家」が、いよいよオープンしました！
（土）は、たくさんのお子さんとその保護者の方が訪れ、賑わいを見せていました。
「ありんこの家」は、大きな松の木が目印。閉館中も、外で遊ぶことは可能です。
「ありんこの家」住所 門前町道下22-9-1
丙-1



△オープン初日の「ありんこの家」の様子

★「門前思い出サロン」開催！

地域の方と一緒に、「門前町の思い出」を語り合う
「門前思い出サロン」を開催します。

門前町は、700年を誇る總持寺をはじめ、深い歴史があります。豊かな歴史のなかで積み重ねてきた、門前の日常や行事について、一緒に語り合いませんか？昭和の頃など、門前の昔の写真もご用意いたしました。思い出を語り合うことは、記憶力の維持にも効果的です。学生ボランティアや子どもたちと、懐かしい思い出を、一緒に振り返ってみましょう。

＊お持ちの写真のお持込みも、大歓迎です。

●開催日

① 4月29日（月）

②5月4日（金）

● 兩日 13:55 開

●開作場戸
輪島市節比の主

禅の里交流館

お問い合わせ

(担当: 駒澤大・柴田 dsat.shibata@gmail.com)



△ 門前 思い出サロン ちらし